

金沢若者夢チャレンジ・アートプログラム

## 広瀬光治と西山美なコの “ニットカフェ・イン・マイルーム”

“Knit Café in My Room” by Mitsuharu Hirose and Minako Nishiyama

4月29日より公開制作してまいりました「広瀬光治と西山美なコの  
“ニットカフェ・イン・マイルーム”」のインスタレーションが完成します。



会 期	2009年4月29日(水・祝) → 2010年3月22日(月・祝) [作品公開制作] 2009年4月29日(水・祝)→9月11日(金) [作品展示] 2009年9月12日(土)→2010年3月22日(月・祝)		
閉 場 日	毎週月曜日(ただし、5月4日、7月20日、9月21日、10月12日、11月2日、11月23日、1月11日、3月22日は開場)、 10月13日(火)、11月4日(水)、11月24日(火)、12月28日～1月1日(年末年始)、1月12日(火)		
開場時間	10時～18時(金・土曜日は20時まで)※チケットの販売は開場30分前まで		
展示 / 活動場所	金沢21世紀美術館 展示室13		
料 金	2009年4月29日(水祝)→2009年9月11日(金) 無料 2009年9月12日(土)→2010年3月22日(月・祝) コレクション展との共通観覧券 一般350円(280円) / 大学生280円(220円) / 小中高生 無料 / 65歳以上280円 * ( )内は団体料金 ※同時開催の特別展を観覧される場合、別途観覧料が必要です。		
主 催	金沢21世紀美術館 [(財)金沢芸術創造財団]	共 催	北國新聞社
助 成	芸術文化振興基金	協 力	社団法人 日本編物文化協会、ハマナカ株式会社

本資料に関する  
お問い合わせ

金沢21世紀美術館 展覧会担当/村田、吉備 広報担当/落合・岡田  
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1  
TEL 076-220-2811 FAX 076-220-2806  
http://www.kanazawa21.jp E-mail: press@kanazawa21.jp



## 概要

「広瀬光治と西山美なコの“ニットカフェ・イン・マイルーム”」は、金沢若者夢チャレンジアートプログラム\*の第三弾で、金沢21世紀美術館で展開される長期プロジェクト型展覧会です。当館の展示室13において、広瀬光治と西山美なコ制作による作品《ニットカフェ・イン・マイルーム》が展開されます。

卓越した技術で独自のニット表現を展開するニット界の伝道師・広瀬光治と個人や共同体にとっての「あこがれ」や「理想」の世界を独自の造形言語によって追求してきた西山美なコ。二人のコラボレーションによって、「ニットカフェ・イン・マイルーム」という空間が展示室に作り出され、この場をプラットフォームとして、鑑賞者に向けた様々な編物プロジェクト、ワークショップが展開されます。一年間という長期プロジェクトを通して、「編む」という行為や創造の意義、可能性を探ります。

\*「金沢若者夢チャレンジアートプログラム」

スウェーデンのストックホルム近代美術館で成功を収めている高校生対象の教育普及プログラム「ゾーン・モデルナ」をモデルとし、金沢21世紀美術館において若者を対象に立ち上げられたプログラム

## プロジェクトの内容

本展覧会は、二つの大きな柱を中心に展開しています。

### 1 広瀬光治、西山美なコによる巨大インスタレーション 「ニットカフェ・イン・マイルーム」の展示(展示室13)



#### 《ニットパビリオンーニットカフェ・イン・マイルーム》 9月12日(土) 完成!

本インスタレーションの中心部分には、4月より制作を進めてきた二人の共同制作作品《ニット・パビリオンーニットカフェ・イン・マイルーム》が展示されます。西山氏がデザインしたパビリオンを、広瀬光治がニットによって表現していきます。また、パビリオンの中心には、ニットによって編み上げられる「靴」の作品が設置されます。

### 2 プロジェクト「ニットカフェ・イン・マイルーム」の展開 本展では、以下のA～Eのようなプロジェクトを行っています。

#### A 若者とのプロジェクト

本展覧会は、金沢若者夢チャレンジアートプログラムの第三弾として展開しています。若者を中心としたプロジェクト参加者は、作家と共同で展示空間を創出し、来館者、ワークショップ参加者、小中学校の子どもたち等、様々な人々へ発信するプロジェクトの担い手となっています。



#### B エブリデイ・ニット・プロジェクト

本展では、一般鑑賞者を対象に、毎日(開場日を除く)編物プロジェクトを行っています。18歳から39歳の年齢層の本展のボランティアメンバーたちが、このプロジェクトの運営を担っています。広瀬光治がデザインしたモチーフの編物制作を体験できます。ボランティアメンバーとともに、指編み、かぎ針編みを行い、出来上がったモチーフは、展示空間の一部として、展示されます。編物体験を通して、創造することの意義を問うプロジェクトになることを目指しています。



[受付時間]13:00～16:00

ただし、9月11日 13:00～14:30、9月12日 14:30～16:00、9月26日 13:00～14:00、10月17日 14:30～16:00、10月24日 13:00～14:00、11月14日 15:00～16:00、11月28日 13:00～14:00、12月12日 13:00～14:00、12月19日 15:00～16:00、1月16日 15:00～16:00、1月23日 13:00～14:00、2月20日 15:00～16:00、2月27日 13:00～14:00、3月20日 13:00～14:00、3月21日 14:30～16:00

**C サタデー・ニット・ワークショップ**

本展では、一般鑑賞者を対象に、月一回程度、有料で編物ワークショップを行っています。日本編物文化協会の講師が指導にあたり、モチーフ、エコたわし、マフラー等、様々な物を制作します。出来上がったものは、持ち帰ることができます。

展示室内で広瀬光治と西山美なコ氏の共同制作の作品世界を感じながら、様々なものを編み上げます。



今後のプログラム	2009年 9月26日(土)	「8本ゆびで編むマフラー」	
	10月24日(土)	「かぎ針編みのマフラーを編もう」	
	11月28日(土)	「ガーター編みで2WAYニットを編もう」	
	12月12日(土)	「2目ゴム編みで簡単手袋を編もう」	
	2010年 1月23日(土)	「アイリッシュレースのモチーフを編もう」	
	2月27日(土)	「ブリューゲルレースのストールを編もう」	
	3月20日(土)	「レース編みのかわいい小ものを編もう」	
	※各回詳細は、美術館ホームページをご覧ください。		

**D 地元小中学校との連携**

本展のプロジェクトの一つとして地元小中学校との連携プログラムがあります。特に近年、広瀬光治は子どもたちへ編物やものづくりの意義を伝えることに力を入れています。本プロジェクトでは、広瀬光治が編物や何かを作り出すことについてレクチャーをするだけでなく、実際に子どもたちに指編み体験してもらい、その楽しさ、素晴らしさを体感してもらっています。学校の規模によっては、本展のボランティアメンバーたちが、広瀬とともに本プログラムの運営を行っています。

**E 講演会 & イベント****広瀬光治講演会**

本展では、広瀬光治による講演会を定期的に行っています。本展への思い、西山美なコとの共同制作についての話に加え、日常的な編物制作、ニットデザインについての講演を展開しています。また、編物の実演も行ってきます。さらには、広瀬光治が制作してきた様々なニット作品も展示します。今後の展開としては、ファッションショー、「歌とニット」と題する講演会も予定されており、本講演会をととして、広瀬光治の表現世界の全貌に迫ります。

**西山美なコ講演会**

西山美なコは、1965年に兵庫県に生まれ、「ピンク」、「かわいい」など日本社会の側面を押し出した作品で注目されました。近年では、光の反射に着目し、建築、空間と融合する作品を展開し、より本質的な世界への探求が見られます。現在までの西山の表現について言及しながら、本展への思いを語ります。

**今後のプログラム**

作品展示開始記念トーク 2009年 9月12日(土)  
広瀬光治×西山美なコ コラボレーション・トーク

10月17日(土) 対談:西山美なコ×村田大輔(本展担当学芸員)  
11月14日(土) 広瀬光治 講演会  
「展示作品の解説～各パーツのテクニック紹介～」  
12月19日(土) 広瀬光治 講演会「歌とニット～トーク&ミニコンサート」  
2010年  
1月16日(土) 広瀬光治 講演会「伝統のニットのお話」  
2月20日(土) 広瀬光治 講演会「ニットファッションショー」  
3月21日(土) 展覧会クローズingtーク  
広瀬光治×西山美なコ コラボレーション・トーク



※各回詳細は、美術館ホームページをご覧ください。

## 作家紹介 広瀬光治 Mitsuharu Hirose



1955年埼玉県生まれ。高校生の頃から作品を編みはじめる。高校卒業後、水産会社に勤務するかたわら霞ヶ丘芸芸学院で編み物・レースを学び、卒業後、日本ヴォーグ社に入社。編集者として勤務する一方、講習会活動を通して編み物普及に力を注ぐ。

1993年よりNHK「おしゃれ工房」に出演、以後テレビをはじめ、各種新聞、雑誌などから取材を受け、「ニット界の伝道師」として注目を浴びている。1999年に日本ヴォーグ社を退社、現在、(社)日本編物文化協会技術顧問、霞ヶ丘芸芸学院学院長。

## 著書

『大人のニットアフガン編み』(2008年9月発売)『優美なニット』『あみもの指南』『広瀬光治の伝統のニット』『広瀬光治のパーティニット』『広瀬光治のゆび編レッスン』『優雅なメッシュワーク』『美しいニット』『こどものため』『華麗なニット模様編み250』(以上日本ヴォーグ社)『広瀬光治のあみもの塾』『広瀬光治のはじめてでも失敗しないニット』(以上NHK出版)『広瀬光治のはじめてのニット』『プレゼントニット』『カジュアルニット』(以上講談社)『かぎ針で楽しむ小さなレース』(主婦と生活社)エッセイ集『羊の気持ち』『羊からの贈り物』(以上モデラート)『トップランナー』(中央出版)『子どものセーター』(SSコミュニケーションズ)『さすらいの手編みじゅんぬ』(集英社)『シックに着るニット』『シンプルニット』『ゆびで編むもの』(以上雄鶏社)

## 出演テレビ・ラジオ番組

NHKおしゃれ工房('93~) / NHK趣味悠々('00) / 笑っていいとも / たけしの誰でもピカソ / ごきげんよう / スーパーモーニング / ザ・ワイド / トップランナー / ナイナイサイズ / 新・男の食彩 / ポンキッキーズ / 金曜日のスマたちへ / 徹子の部屋 / 「全国子ども電話相談室」 / スタジオパークからこんにちは / 他多数

## 西山美なコ Minako Nishiyama



1965 兵庫県に生まれる 兵庫在住  
1989 京都市立芸術大学美術学部 油画専攻 卒業  
1991 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 修了  
1997 ACCグラントを受けてNYに滞在  
2003 Banff Creative Residency / カナダに参加

## 個展

1988 アートスペース虹 / 京都  
1989 信濃橋画廊 / 大阪  
1991 ギャラリー16 / 京都  
1992 インターフォームコンテンポラリー / 大阪  
1993 ギャラリーシマダ / 東京  
1994 ギャラリー・ギスレーヌ・ユスノー / パリ  
1997 「ピンク♥ピンク♥びんく」西宮市大谷記念美術館  
1999 ギャラリーシマダ / 東京  
2002 「スイート・ドリーム」三菱地所アルティウム / 福岡  
2003 「百花残る。と、聞きもし、見もし……」ギャラリーイヴ / 東京  
2004 「Pink Vacancy 西山美なコ」資生堂ギャラリー / 東京  
2005 「~いろいろいき~」児玉画廊 / 東京 / 東京  
2007 「レフ・ペインティング」ギャラリー・ブント / 岡山  
「~いろいろいき~」京都芸術センター  
2009 「~いろいろいき~」ギャラリー・ブント / 岡山

## グループ展

1992 水戸アニュアル '92「大きな日記 / 小さな物語」水戸芸術館現代美術ギャラリー  
「デ・ジェンダリズム- 回帰する身体」世田谷美術館、東京  
1998 「マンガの時代」東京都現代美術館  
1999 「アート・スイート・ホーム」広島市現代美術館  
2000 「Let's Entertain」Walker Art Center, ミネアポリス(米)他、欧米巡回  
2001 「亜細亜散歩 - Cute」水戸芸術館現代美術ギャラリー  
2002 「ぼくらのヒーロー&ヒロイン展」市立小樽美術館  
「A ★ MUSE ★ LAND 2003 あそベンチャー・ワールド」北海道立近代美術館  
2004 「夢みるタカラヅカ展」サントリーミュージアム[天保山]他、巡回  
「OFFICINA ASIA」リミニ会場(イタリア)  
2005 「アニメイト。~日韓現代アートに見るアニメ的なもの~」  
福岡アジア美術館、省谷美術館 / ソウル  
「あrawになる色: Pink」東京芸術大学陳列館  
2006 「collection I」金沢21世紀美術館  
2007 「美麗新世界: 当代日本視覚文化」ロングマーチ / 北京、広東美術館 / 広州

## 舞台美術

2001 "Dreamtime in Morishita Studio" 東京  
2004 "Chinoiserie" Schauspielhaus, ウィーン

## パブリック・コレクション

金沢21世紀美術館  
高松市美術館